

とおかまち



子どもの成長を祝う七五三

11月になり、子どもの成長を祝い、市内では七五三が各地で行われています。子どもたちは袴着、お化粧、本仕立ての着物を着るなど大人の装いをしながら、緊張した様子の面持ちで参加しました。

主な内容

- 中心市街地活性化市民シンポジウム …… 2-3
- 高齢者の福祉サービス …… 4-5
- 人事行政事情／芸術祭企画発表会 …… 6-9
- 叙勲・表彰／特別養護老人ホーム開設予定 ほか …… 10-13
- 中国江陰市訪問／里山センター ほか …… 14-17
- 地域の風～支所からのたより～ …… 18-19
- きらめき青春／お～い! 昔 ほか …… 20-21
- コメを食べよう／小中一貫教育 ほか …… 22-23
- まちの話題TOPICS …… 24-25
- お知らせ・ガイド／熱中夢中 …… 26-32

街を元気にするために私たちにできること

— 十日町市中心市街地活性化市民シンポジウムを開催しました —

10月30日(日)、市民会館で十日町市中心市街地活性化市民シンポジウム（主催：十日町市、共催：十日町商工会議所・社）十日町青年会議所）が開催されました。

◆問合せ：産業観光企画課産業観光企画係 ☎757-3691

このシンポジウムは、平成22年度より取り組まれている十日町市中心市街地活性化事業の一環として行われました。このたび「十日町市中心市街地活性化基本計画第1次骨子」（詳しくは市報10月10日号掲載）が完成したことから、広くお知らせするとともに、今後の議論を深めるため開催したものです。

関口市長のあいさつの後、計画の第一次骨子が説明されました。メインのパネルディスカッションでは、2人の専門家から、全国でのまちづくりの経験を踏まえて、十日町市のまちづくりへのアドバイスがありました。また、市民パネリストからは、さまざまな分野で活動している経験や日頃の考えなどを踏まえたまちづくりへの思いが語られました。

- コーディネーター
 - ・土肥健夫さん（㈱事業開発推進機構代表取締役）
 - メインパネリスト
 - ・原田弘子さん（内閣官房地域活性化伝道師・マネジメントオフィスHARADA代表）
 - 市民パネリスト（順不同）
 - ・古澤郁夫さん（十日町商工会議所常議員）
 - ・馬場浩一さん（社）十日町青年会議所理事長）
 - ・渡貫文人さん（市民活動ネットワーク「ひとサポ」代表）
 - ・高橋里江さん（子育て支援センター「くるる」利用者）
 - ・村山政文さん（㈱エフエムとおかまち代表取締役）
- （※以下、敬称略）



パネルディスカッション「街をもっと元気にするために私たちにできること」

「とおかまち」のまちなかにある誇るべき資源は？

渡貫…一番はおいしい飲食店があるということ。また、市役所を含めた多くの施設や店があるということだと思っています。

村山…私もアーケードや商店街、飲食店など大変すばらしいと思います。それを表の顔とすると、ちよつと入った裏、例えば西寺町や晒川沿いの学校町などにも、歴史を感じさせる街並みがあると

思っています。それから、個人的で独自の活動をしている団体がたくさんあるということも宝物。7年前に設立したエフエムとおかまちも、地元の情報を発信できる会社として大事な宝としていきたいと思っています。

「まちなか」の課題って何だろうか？

馬場…「まちの顔」と言えるのが中心市街地。例えば、商業店舗が並んでいる高山太子堂線沿線にぎわいはありますが、まちの顔にはなり得ないと思います。課題は、統一感や連携をうまく図るという意味での一体感のようなものが少し欠けているように感じます。高橋…十日町に来て2年。育児をしている主婦として感じることは、現状が日常化して不便を不満として感じていないような気がします。また、例えば、いい雰囲気やおいしい飲食店の情報が、私のように新しく来た者になかなか伝わってこないというところも感じました。ただ、今が不便な分、良くなる伸びしろが大きいと思います。古澤…商業を営む者として、商店街の課題は山積み。それぞれが課

街を元気にするためにできること・やりたいこと

馬場…十日町青年会議所としては、中心市街地に住む人や商売を営む人の意見を伺いながら、まちなか活性化に対する市民全体の意識の向上を図っていく活動をしていかなければと思っています。渡貫…市民活動ネットワーク「ひとサポ」の拠点をまちなかにつくり、人と人、人と団体、団体同士をつなげたいと考えています。また、「若者・よそ者・女性」の知恵とパワーを表に出せる雰囲気は今よりもっとあつたり、まちなか以外に住む人もまちなかで小銭を稼いだりといったようなことができれば、もっとおもしろいかなと思います。

村山…まちなかにはエフエムとおかまちのサテライトを作らせてもらいたいと考えています。とにかく生の情報・番組づくりを皆さんといっしょに作る。先ほど渡貫さん

詳しくは市ホームページ (<http://www.city.tokamachi.lg.jp>) をご覧ください



「街を元気にするために私たちができること」

も拠点とか人を結びつけないと話していましたが、まさにそんな発信地になる場を作りたいと考えています。高橋…ママ友と話をしていると、「二年中親子でのびのびと体を動かせるスペースがほしい」「子連れでも入りやすい飲食店の情報がほしい」といったような話が出ます。市長への便りや市のホームページ、めぐりネットを使って、思っていることや要望を届けることが市民としてできる第一歩だと思います。古澤…今回の中心市街地活性化基本計画は、いろいろな人が携わり、協力することで、喜びも膨らむと思います。思いを一つにして、できる限りの効果をあげられるようにしていきたいと思っています。

専門家土肥さん・原田さんのコメント

原田…中心市街地活性化は、商店の人やまちなかの人たちだけのものではありません。このことを混乱している現場が多いので、皆さんの中できちんと整理してほしいと思います。自分のやりたいことをまちなかでやる。それが結果的にまちの元気につながる、という考えでも良いのではないかと思います。

土肥…市民の皆さんが主人公となるまちづくりは、背伸びをして出来ないことをやるのではなく、皆さんの身近にあるものを磨きあげ、それを計画に当てはめて事業化し、継続していくことだと思っています。人ごとだと思わずに、計画づくりという取り組みの中で芽生えるいろいろなチャンスをうまく使いこなし、自分の考えを注ぎこんで、よい街を創ってもらえればと思います。

市長あつち

行政の事業と民間の事業で相乗効果を生み出したい

市町村合併によって充実した観光や農業などの豊富な資源を積極的に情報発信することで、新たなにぎわいを生み出す可能性を大きく秘めているのではないかと考え、今回の中心市街地活性化基本計画の策定にチャレンジすることを決断しました。

計画が国から認定されることで、市だけでなく、民間の皆さんから取り組んでもらえる事業に対しては国の補助金や交付金といった支援を受けることが可能となります。

第一次骨子をご覧いただき、「これならば自分も投資できる」「私はこのまちでこんな活動してみたい」など、少しでも興味を持ってもらえればと思います。また、興味を持っている人には、私自らトップセールスでお邪魔して、さらに詳しく話をしたいと考えています。

高齢者への福祉サービス

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、さまざまなサービスを行っています。詳しい内容や対象者の要件については問い合わせてください。

■問合せ
福祉課高齢福祉係・
おとしより相談係
☎757-9758
または各支所市民課

家事型ホームヘルプサービス事業

ヘルパーが独り暮らしの家庭を訪問して、料理や洗濯などの家事を利用者といっしょに行います。

病院（通院）付き添い援助事業

病院への通院が困難な独り暮らしの人などで、親族の協力が得られない場合に、病院の付き添いを行います。

生きがい対応型デイサービス事業

家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、昼食をほさんで創作活動などのサービスを提供します。

認知症予防事業 （十日町地域のみ実施）

「脳のいきいき度」チェックと、認知症予防のための軽体操や創作活動を行います。

生活管理指導短期宿泊事業

介護保険の要介護認定を受けていない人を対象に、短期間老人ホームに宿泊し、生活習慣の指導を受けながら体調を整えます。

緊急通報装置貸与・ 日常生活用具給付事業

独り暮らしの人などに、緊急時にボタンを押すと身近な人に通報できる装置やペンダントを貸与しています。また、自動消火器・火災警報器・電磁調理器を給付します。

除排雪援助事業

市民税均等割以下の独り暮らしの人などで、親族からの支援が得られない場合に、除雪または融雪屋根にかかる経費の一部を補助します。

外出支援サービス事業

介護保険の要介護3以上の認定を受けていて、一般の交通機関の利用が困難な人に、タクシー利用を支給します。

配食サービス

独り暮らしなどで調理が困難な人に、サービス計画を作成して食事を届けます。

介護保険事業利用者負担額軽減制度

市民税非課税世帯で、収入や預貯金が一定額以下の人などに対して、デイサービスや施設入所などの介護保険サービスの利用者負担額を軽減します。

寝たきり・認知症高齢者の家族支援

◆寝たきり老人等介護手当支給事業
介護保険の要介護3以上の認定を受けている寝たきりや認知症の高齢者を自宅で介護している人に、月額5,000円の介護手当を支給します。なお、月の半分以上自宅にいないときは支給されません。

紙おむつ等購入費支給事業

寝たきり、常時排せつ障がいがあるなどの理由で紙おむつなどを

必要としている高齢者に、購入費の一部を支給します。

◆高齢者・障がい者向け安心住まいの整備事業
介護保険の認定を受けている高齢者や、障がいの居住する自宅をバリアフリーなどに改造する場合、資金の一部を補助します。

◆家族介護慰労事業

介護保険の要介護4、5相当の高齢者を、介護保険サービスを使わずに1年以上自宅で介護している市民税非課税世帯に、10万円の慰労金を支給します。

障がい者控除認定書の発行

65歳以上の要介護認定者で、心身の状況が障がい者に準ずる状態と認められた場合、障がい者手帳を持っていなくても、所得税や市・県民税の障がい者控除を受けることができます。

希望する人は申請してください。審査のうえ、該当者には認定書を発行します。

●申請に必要なもの：介護保険証、印鑑 ※手数料300円が必要。認定書の即日交付はできません

高齢者の皆さん！介護予防事業へ参加しましょう

■問合せ：福祉課おとしより相談係 ☎757-9758

十日町市では、高齢者が住み慣れた地域において、日ごろから活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防事業を展開しています。

介護予防事業には、一般市民を対象とした「一次予防事業」と、介護を受けるまでに至らないが少し虚弱な高齢者を対象とした「二次予防事業」があります。

今回はこの中で「二次予防事業」について、説明します。

◎二次予防事業とは

大きく分けて3つの事業があります。

■運動教室

専門の指導員が、軽体操やストレッチなどの自宅で継続できる運動を教えます。

■口腔教室

歯科衛生士などが、口の体操や唾液腺マッサージなどを教えます。

■栄養改善指導

体重が急に減少した人を対象に管理栄養士などが栄養指導を行います。

本チェックリスト（25項目）調査を実施しました。その中で予防事業該当となる一定の基準に達した人を選定しました。この選定された人が介護予防事業への参加をお願いしたい対象者となります。

◎参加者した人の効果は

昨年、二次予防事業に参加した人は126人でした。

参加した人の多くは状態が改善・維持しています。「運動することでより健康になった、体が軽くなった」など参加してよかったとの意見が多くありました。

◎二次予防事業の対象者

今年市内の65歳以上の人全員に「基

「口腔教室」の約8割の参加者からは、次のような感想が寄せられました。



◎二次予防事業の問い合わせ先

実施事業者	電話番号	担当地域
福祉課おとしより相談係	☎757-9758	十日町市全域
地域包括支援センター三好園しんざ	☎750-5380	十日町地域の十日町・新座・大井田・中条・下条地区
地域包括支援センターつまりの里	☎758-2324	十日町地域の川治・六箇・吉田・水沢地区、中里地域
地域包括支援センター社協とおかまち	☎597-3805	川西、松代、松之山の各地域

(2) 懲戒処分状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、免職、停職、減給、戒告の4種類があります。

懲戒処分者数

免職	停職	減給	戒告	合計
1人	0人	0人	1人	2人

5. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 職員の研修の状況

十日町市では公務の基礎知識から高度な行政運営までの能力を養うため、新潟県市町村総合事務組合などが行う研修を職員に受講させています。平成22年度は延べ422人の職員が研修に参加しました。

(2) 勤務成績の評定の状況

十日町市では職員の人材育成及び業務効率の向上を目的として、定期的（年2回、1月と7月）に勤務成績の評価を行っています。

6. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 厚生計画の状況

区分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	メンタルヘルス研修会	メンタルヘルス対策の研修会
共済制度	短期給付	保険給付（医療保険）、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

(2) 公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
6件	0件

人事行政事情のお知らせ

十日町地域広域事務組合

十日町地域広域事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成22年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関しては、平成22年度分については平成22年12月25日号の市報に掲載しました。平成23年度分については平成23年12月25日号の市報に掲載する予定です。

1. 任免の状況

平成22年度（平成22年4月1日～23年3月31日）の状況は、全体で退職者5人、採用者5人となっています。

①退職者の状況

区分	人数
定年退職	5人
勸奨退職	0人
普通退職	0人
その他	0人
合計	5人

②採用者の状況

区分	人数
消防士上級	2人
消防士初級	2人
その他	1人
合計	5人

2. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である1日7時間45分、1週間38時間45分となっています。

1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間			
	開始時間	終了時間	休憩時間	
38時間45分	7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時

※消防職の交替制勤務職員は1当務あたり16時間であり、3交替制でローテーション勤務となっています

(2) 年次有給休暇の取得状況（平成22年1月1日～12月31日）

年次有給休暇は、1年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
1,062日	122人	8.7日

※9か月以上在職した職員を集計

十日町市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成22年度の人事行政の運営などの状況について公表します。なお、公表項目の職員給与に関しては、平成22年度分については平成22年12月25日号の市報に掲載しました。平成23年度分については平成23年12月25日号の市報に掲載する予定です。

1. 任免の状況

平成22年度（平成22年4月1日～23年3月31日）の状況は、全体で退職者44人、採用者6人となっています。

①退職者の状況

区分	人数
定年退職	18人
勸奨退職	20人
普通退職	2人
その他	4人
合計	44人

②採用者の状況

区分	人数
上級	1人
中級	0人
初級	0人
教育職員	2人
その他	3人
合計	6人

2. 職員数に関する状況

平成18年3月に定員適正化計画を策定し、平成18年度から平成22年度までの5年間で職員数を57人削減し、709人にする目標を定めました。削減に当たっては「事務・事業の見直し」「民間への委託」「組織、機構の見直し」などを総合的に組み合わせて、目標達成を目指しています。なお、23年度からは5か年の第2次定員適正化計画を策定しました。

(4月1日現在)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計
定員適正化計画における職員数	766人	749人	742人	729人	720人	709人	
増減		△17	△7	△13	△9	△11	△57
実際の職員数	766人	749人	729人	703人	679人	642人	
増減		△17	△20	△26	△24	△37	△124

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

全職員について、労働基準法の限度内である1日7時間45分、1週間38時間45分となっています。

1週間の正規の勤務時間	1日の正規の勤務時間			
	開始時間	終了時間	休憩時間	
38時間45分	7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時

※一部職場によっては時間差勤務を行っています

(2) 年次有給休暇の取得状況（平成22年1月1日～12月31日）

年次有給休暇は、1年ごとに20日付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができます。

総取得日数	全対象職員数	平均取得日数
3,686日	430人	8.6日

※市長部局に在職する一般職員を対象とした数字です

(3) 特別休暇の導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。(有給)

(4) 介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより6か月以内の期間で与えられる休暇です。(無給)

取得職員数
2人

(5) 育児休業の取得状況

育児休業は、法律及び条例の定めるところにより、職員が3歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。(無給)

取得職員数
9人

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分の状況

分限処分とは、法律に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の4種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
0人	0人	28人	0人	28人

※人数は延べ人数です

■参加アーティストの発表
大地の芸術祭で市民といっしょにアート作品を手掛けるアーティストの第一弾を発表しました。現在、40の国と地域からのアーティストによって、246作品・プロジェクト（既存作品含む）が各地域に展開する予定です。第2弾発表は12月中の予定です。

■主な展開プロジェクトの発表
2012年に展開するさまざまなプロジェクトやイベントについて発表しました。

越後妻有交流館キナレの回廊2階は、越後妻有の自然や環境をテーマとした作品と、地産の食材を使ったレストラン、ミュージアムショップなどが整備され、越後妻有地域全体をミュージアムとして発信するセンターとなります。

また、JR飯山線アートプロジェクトの展開駅が下条駅と越後田沢駅に決定しました。このプロジェクトは、一味違うデザイン列車が鉄道を通じた交流の促進役を担う企画も含まれます。

このほか、設計提案公募が行われたオーストラリア・ハウスは、アンドリュース・バーンズ氏の案が選ばれ、10月に来市するなど、すでに具体的に動き出しています。

イベントは、2003年に豪雪地・越後妻有地域の特性を作品化した「スノーワーカーズ・バレエ」の再演、2009年に開催した「カノンポリアサカス」、「ツールド妻有」などが企画されています。



■問合せ：観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012 企画発表会が開催されました

作品鑑賞パスポートの販売を始めました！

大地の芸術祭の作品鑑賞に欠かせないパスポートの販売がスタートしました。十日町圏域外からも多くの人においでいただけるように、ぜひ友人などにお勧めください。

券種	前売券	当日券
一般	3,000円	3,500円
高校生・専門学校生・大学生	2,500円	3,000円

※中学生以下無料

【パスポート販売窓口】

ローソンチケット（Lコード：36421）、e+（イープラス）、チケットぴあ（Pコード：764909）、CNプレイガイド、JR東日本びゅうプラザ・みどりの窓口（一部の駅を除く）、セブン・イレブン（セブンコード：013-831）、ローソン（店内Loppi）、ファミリーマート（店内Famiポート）、本町分庁舎、まつだい「農舞台」ほか

※一部窓口は12月以降の販売となります

～市民の皆さんへ～ パスポート割引券 を配布します！



地元（十日町市・津南町）の皆さんにパスポートの割引券を配布します。割引券は来年4月頃、市報に折り込む予定ですので、購入はしばらくお待ちください。

券種	前売券	当日券
一般	3,000円 → 1,500円	3,500円 → 2,000円
高校生・専門学校生・大学生	2,500円 → 1,000円	3,000円 → 1,500円

※第4回展で発行された地元券は、今回は発行しませんのでご了承ください

（3）特別休暇などの導入状況

特別休暇は、結婚、出産、お悔やみ、そのほか特別な事情により勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより与えられる休暇です。（有給）

（4）介護休暇の取得状況

介護休暇は、職員の家族を介護するため勤務しないことが相当な場合、条例の定めるところにより6か月以内の期間で与えられる休暇です。（無給）

取得職員数
0人

（5）育児休業などの取得状況

育児休業は、法律及び条例の定めるところにより、職員が3歳に満たない子を養育する必要がある場合において休業できる制度です。（無給）

取得職員数
0人

3. 職員の分限及び懲戒処分状況

（1）分限処分の状況

分限処分とは、法律に定められた事由に該当した場合に、職員の意に反してその身分に不利益な変動をもたらす処分のことをいい、地方公務員法第28条に規定されています。

分限処分には、降任・免職・休職・降給の4種類があります。

分限処分者数

降任	免職	休職	降給	合計
0人	0人	0人	0人	0人

（2）懲戒処分の状況

懲戒処分とは、任命権者が職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う行政上の不利益処分のことをいい、地方公務員法第29条に規定されています。

懲戒処分には、免職、停職、減給、戒告の4種類があります。

懲戒処分者数

免職	停職	減給	戒告	合計
0人	0人	0人	0人	0人

4. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

（1）職員の研修の状況

十日町地域広域事務組合では消防救急技術を養うため、新潟県消防学校などが行っている研修を職員に受講させています。平成22年度は23人の職員が各種研修に参加しました。

（2）勤務成績の評定の状況

十日町地域広域事務組合では職員の人材育成及び業務効率を増進させることを目的として、定期的（年2回、1月と7月）に勤務成績の評価を行っています。

5. 職員の福祉及び利益の保護の状況

（1）厚生計画の状況

区分	事業名	事業内容
厚生制度	定期健康診断	定期健康診断及び事後指導など
	人間ドック	人間ドック、脳ドック
	B型肝炎検査、予防接種	消防職員を対象とする検査
	特定業務従事者検診	特定業務従事の消防職員を対象とする検診
共済制度	短期給付	保険給付（医療保険）、休業給付など
	長期給付	退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金など
	福祉事業	貸付事業、保健事業、宿泊施設運営など

（2）公務災害などの状況

認定請求の状況	
公務災害	通勤災害
6件	1件

叙勲おめでどうございます

さまざまな分野で永年にわたり活躍・貢献した皆さんが国から表彰されました。晴れの栄誉に輝いた皆さん、おめでどうございます。

旭日双光章 (地方自治功労)



齋喜宗一郎さん
(倉俣・79歳)

旧中里村時代の昭和62年から平成15年までの4期16年の永きにわたり、議員活動に従事した功績により、齋喜宗一郎さんが秋の叙勲に輝きました。

齋喜さんは、昭和62年11月に当選し、2期目の平成3年から15年までの12年間は議長として中里村議会の円滑な運営に尽力。村当局と議会の調整役として活躍しました。

受章にあたり齋喜さんは、「震災などで今も苦勞されている人がいる中でいただくことは、申し訳ない気持ちもありますがありがたいです。当時は、村職員や地域住民とともに良い村にしようと真剣に議論し、実現してきました。良い仲間にも恵まれて一つの時代を過ごさせていただきました」と話していました。

瑞宝双光章 (教育功労)



大嶋 紘一さん
(原・72歳)

永年にわたり、新潟県の学校教育に従事した功績により、大嶋紘一さんが秋の叙勲に輝きました。

大嶋さんは、昭和38年に津南町立下船渡中学校教諭を拝命以来、平成12年までの37年間、教育者として新潟県の学校教育の充実・発展に尽力しました。着任した学校では、その地域環境を生かした指導を図りました。また、当市の教育委員会にも携わり、教育行政の推進に指導力を発揮しました。

受章にあたり大嶋さんは、「子どもの成長は環境しだいとの思いで、保護者や地域の皆さんとの関係を大切にしながら取り組んできました。上司や仲間、地域の支え、教え子、そして家庭があつての受章だと思い、せんえつですがありがとうございました」と話していました。

瑞宝双光章 (消防功労)



柳 茂男さん
(住吉町・70歳)

永年にわたり、消防の危険業務に従事した功績が認められ、柳茂男さんが秋の叙勲に輝きました。

柳さんは昭和35年、十日町市消防本部・署設立と同時に消防士を拝命以来、42年の永きにわたり、消防の使命達成のため、その豊富な経験知識を駆使し幾多の水火災の現場に出勤。この間、消防署分隊長、小隊長、及び分署長をはじめとし、消防本部課長及び次長を歴任しました。

受章にあたり柳さんは、「非常にありがたいと思っています。けれども私個人ではなく、消防の先輩の皆さん、消防署の組織で受章したものだと思っています。感謝しているのは両親。これまで病気もけがなく育ててもらって本当にありがたいと感じています」と話していました。

表彰 おめでどう ございます

文部科学大臣表彰

(社会教育振興功労)



庭野 (藤巻) 秀正さん
(住吉町・74歳)

美術の指導を通して社会教育に貢献してきたほか、永年にわたり文化芸術活動に尽力した功績が認められました。庭野さんは、「今までは芸術の作品に対して評価をもらってききました。しかし、これは多くの支援者が支えてくれたおかげの受賞です」と話しました。

新潟県知事表彰

(善行功労)

昭和52年に発足以来、34年にわたり音声訳のボランティア活動を実践し、視覚障がい者への音声訳による自立支援の推進と福祉活動

新潟県知事表彰

(商工業振興功労)



中村 公一さん
(松代・76歳)

昭和56年から松代町商工会の理事を務め、現在は会長を務めるなど松代地域の商工業の振興に深く寄与した功績が認められました。中村さんは、「会員の皆さんなどに支えられて、いっしょに活動してきた成果です」と話しました。



十日町朗読サークル
(代表 酒井智子さん)

の意識向上への貢献が認められました。これまでに市報や書籍などの音声訳の録音は15万時間を超えます。市民に編集ボランティアの参加を呼びかけ、利用者との意見交換や研修会を企画するなど会員の資質向上に努めています。

十日町市文化協会連合会文化賞

第17回十日町市文化協会連合会(会長・榎澤英男さん)の文化祭が11月3日(文化の日)に開かれ、地域の芸術・文化振興に貢献した4人・2団体が表彰されました。

■表彰状 (敬称略)

○福島竹作 (中条峠)
 阜月盆裁会の設立に寄与し、役員として多くの愛好家を育成、技術向上に尽力

○山田信男 (四日町3)
 永年にわたり、民謡協会の役員として技芸発展に精励、後進の指導育成に尽力

○水落和子 (西本町3)
 水と会を結成。会主として舞踊道の発展と後継者の育成に尽力

○松田ていこ (四日町1)
 永年にわたり、地域柳壇の指導者及び選者として川柳文化の普及・発展に尽力

○松杉会 (代表・大津幸一)
 結成以来40年にわたり、書道文化の普及振興に尽力し数々の栄光に輝いた功績



○十日町ユーモアクラブ (代表・熊木昌三)
 設立以来40年にわたり、芸道に精進し、市民に笑い・ユーモア・元気を与えた功績

「まほろばの里川治」施設名称が決定

特別養護老人ホーム・来年5月に開設予定

平成24年5月、(福)苗場福祉会が川治に特別養護老人ホーム「まほろばの里川治」を開設します。これは市内で特別養護老人ホーム入所待機者が多くいることから、十日町市第4期介護保険事業計画に基づき整備を進めてきたものです。これにより特別養護老人ホームは市内に9か所491床になります。

■問合せ：福祉課介護保健係 ☎757-3757

■施設名：まほろばの里川治
 ※(福)苗場福祉会の公募により決定
 しました

■施設申込み・問合せ
 健康倶楽部十日町(四日町2) ☎752-1729

■所在地：川治4525(仮)
 ■開設予定月：平成24年5月
 〈施設内容〉

■定員
 ・ユニット型入居定員：70人
 ・短期入所生活介護施設：20人
 ・デイサービス：30人(1日あたり)
 ■入居利用料金の目安(食費込み)
 1か月あたり122,610円
 ～130,770円※要介護度に
 応じて異なります。所得の状況に
 より軽減制度があります
 〈申込み・問合せ〉
 ■受付開始：12月1日(木)

健康倶楽部十日町(四日町2) ☎752-1729
 295、健康
 倶楽部たちば
 な(仁田) ☎
 768-48
 77、介護老
 人保健施設み
 さと苑(津南
 町) ☎765
 3400、
 苗場福祉会
 (津南町) ☎
 765-35
 00



「まほろばの里川治」完成イメージ

地震・水害による被災家屋の解体廃棄物の 受入量を制限します

※本事業は平成24年度も継続して実施します

■問合せ：環境衛生課衛生業務係 ☎752-3924

長野県北部地震による被災家屋の全部解体を行う契約が、現在235件を超えています。今後も水害を含めると100件程度の解体が見込まれます。

一方では、それらの廃棄物を処分する高木沢企業(株)の処理能力を超えた量がすでに搬入されていることから、11月14日(月)から3月末まで受入量の調整(制限)を行っています。

本事業は継続して平成24年度も実施しますので、被災家屋の解体を予定されている人は、依頼業者と相談のうえ、平成24年4月以降に解体作業を実施していただきますようお願いいたします。詳しくは問い合わせください。



大手放送局プロデューサーが語る “使いたくなるロケ地の決め手”

日本放送協会(NHK)制作局ドラマ番組チーフ・プロデューサー
屋敷陽太郎さん講演会

ロケ撮影誘致で
十日町市を
有名にしよう!

◆日時：11月29日(火) 午後3時～5時
 ◆会場：クロス10

ロケ撮影の受け入れは、地域活性化の一つの手段となっています。市内でも「十日町市ロケ応援団」が、「十日町市をロケ地として利用してもらい、市の知名度の向上を図ろう」と考え、撮影のための受け入れ窓口やロケ調査の案内、現場サポートを行っています。今回は、ロケ撮影受け入れに関わる人向けの講演会ですが、ほかでは聞けない大手放送局プロデューサーの生の声を聞くチャンスです。貴重な講演にぜひおいでください。

■問合せ：十日町市ロケ応援団事務局
 (クロス10内) ☎757-2323



講師：屋敷 陽太郎さん
 日本放送協会(NHK)制作局ドラマ番組チーフ・プロデューサー。NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国」チーフプロデューサー。「篤姫」や朝の連続テレビ小説「私の青空」など、NHKで数々のヒット作を生み出した仕掛け人

●主催：松之山商工会・十日町市を有名にし隊「ごったく」・松之山温泉合同会社「まんま」
 ●後援：十日町市・水沢商工会・川西商工会・中里商工会・松代町商工会

第5期 介護保険事業計画市民説明会

介護保険事業の運営については、3年ごとに制度の見直しを行い事業計画を作成しています。平成12年に介護保険制度がスタートして以来12年が経過し、本年度で4期計画が終了します。

第5期の介護保険事業計画の作成にあたり、事業計画や介護保険料についての説明会を開催します。都合のつく会場においてください。

日	時	会 場
12月6日(火)	午前10時	松之山自然休養村センター
	午後3時	松代総合センター
12月7日(水)	午前10時	中里総合センター
	午後4時	中央公民館
12月8日(木)	午前10時	大井田コミュニティセンター
	午後2時	川治公民館
12月9日(金)	午後1時	千手中央コミュニティセンター
	午前10時	下条公民館
12月13日(火)	午後3時	中条公民館
	午前10時	水沢公民館
12月15日(木)	午後2時	新座コミュニティセンター
	午前10時	吉田公民館
12月16日(金)	午後2時	情 報 館

■問合せ：福祉課介護保険係 ☎757-3757

緑のカーテンコンテスト 入賞者

10月30日(日)に開催された環境フェアで、平成23年度十日町市緑のカーテンコンテストの入賞者表彰式が行われました。入賞作品は市ホームページでもご覧いただけます。(敬称略)

【個人の部】

- ◎最優秀賞
栗林洋一(中条新田)「あさがお」
- ◎優秀賞
宮腰ミツ子(旭ヶ丘)「ゴーヤ、あさがお」
樋口雅春(宮下町西)「あさがお」
- ◎優良賞
秋山良平(明石町)「ゴーヤ、ヘチマ、ひょうたんほか」
高橋芳平(松代)「ゴーヤ」

【団体の部】

- ◎最優秀賞
(株)丸山工務所「ゴーヤ」
- ◎優秀賞
川治小学校「あさがお、へちま」
(株)三高土木「あさがお、ゴーヤ」
- ◎優良賞
水沢保育園「あさがお、ゴーヤ」
協和建設(株)「ゴーヤ、ヘチマ、あさがお」
上野小学校「あさがお、ゴーヤ」

■問合せ：環境衛生課 ☎752-3924

平成23年度コミュニティ助成事業

自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、6団体がみこしやコミュニティセンターなどを整備しました。

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源としています。宝くじの普及広報を行うとともに、コミュニティの健全な発展を目指し、みこしや公園遊具のほか、文化活動設備や防災設備、緑化活動など地域コミュニティ組織を対象にしたさまざまな活動に助成を行っています。

今回助成を受けた団体では、整備された備品の活用を通じて、地域コミュニティ活動のさらなる活性化や世代間交流などを図ります。

■問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693



中村集落：みこし



山本町会：みこし



松亭太鼓保存会：太鼓用具



上山区：みこし



市之越自治会：コミュニティセンター

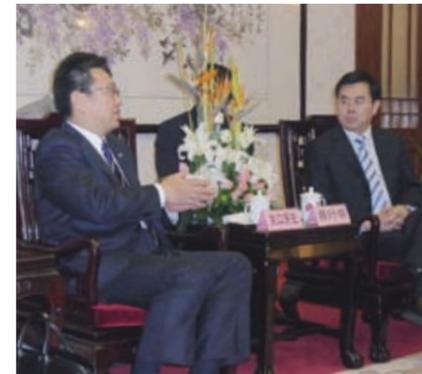


平成園：リフト付きバス

中国江蘇省江陰市を訪問しました

10月31日(月)から11月2日(水)、関口市長をはじめとする行政使節団が中国江蘇省江陰市を訪問しました。この訪問は、昨年から両市が観光誘客や教育の分野で協力をしようとする交流を進めているもので、今回は江陰市での当市の紹介や観光、物産のPRなどを目的としたものです。江陰市では、蔡葉明^{さいようめい}常務副市長をはじめ、国際交流担当部署の皆さんから熱烈な歓迎を受けました。訪問では十日町市を紹介する発表会を行い、江陰市にある日中友好のしるしに植えられた桜を見学、そして中国で最も裕福な村として知られる「華西村」を視察するなど、江陰市との観光や教育などの分野で交流をより深める訪問となりました。

■問合せ：企画政策課広報広聴係 ☎757-3112



蔡葉明常務副市長を表敬訪問

市長をはじめとする6人の十日町市行政視察団は、今回初めて中国江蘇省江陰市を訪問しました。これは昨年10月に江陰市の視察団が新潟県を訪問。当市に立ち寄ったときに「観光や教育の交流を深めるため、ぜひ江陰市を訪問してほしい」との誘いで、関口市長が訪問を約束していたものです。江陰市へは成田から上海まで約3時間のフライト。そこからは車で約3時間30分の道のりです。江陰市では常務副市長の蔡葉明^{さいようめい}さんを表敬訪問しました。そこでは蔡さんが江陰市の概況や近年の発展を紹介。関口市長は江陰市の最近30年間の著しい発展を高く評価する一方、十日町市の観光地やイベントなどを紹介しました。その後は、昨年十日町市を訪問

した当時の江陰市書記で、現在江蘇省観光局長の朱民陽^{しゅみんやう}さんを十日町市にお迎えしたときの思い出話やこれからの十日町市との観光交流について話し合いました。十日町市の観光と物産に関する発表会では、副市長の鄭建勇^{ていけんゆう}さんをはじめ、国際交流担当者、旅行会社、マスコミ関係者など約40人が参加しました。市産業観光部の山岸部長が十日町雪まつりや特産を紹介し、持参した地酒や雪下にんじんジュースを紹介するなどのPRをしました。また、去年十日町市を訪れた朱さんが帰国後に、日中友好の記念として江陰市の郊外に280本の桜の木を植えた広場を見学しました。そこでは関口市長が、「友好長存」と筆で書きました。江



旅行会社やマスコミ関係者を集めて、十日町市をPR

陰市が石碑を作り、当市と江陰市の友好の印として残す計画です。最後は、たびたび報道でも取り上げられる江陰市内にある中国一裕福な村「天下一の村—華西村」を見学しました。そこは、いたるところに近代的で豪華な戸建て住宅が建ち並ぶ裕福な村です。今回の訪問では、江陰市との交流を深め、十日町市のことをより多くの江陰市民に知ってもらいました。今回の訪問をきっかけに、今後の十日町市への観光誘致や物産の海外販売につながることを期待しています。



友好の書を残してほしいとの依頼に応える関口市長

十日町の働く現場を紹介します。

■問合せ 産業振興課 ☎757-3139

株式会社 サンウッド新潟

～一般住宅建築工事の設計・施工・請負・監理などを主に手掛けています。熟練された確かな技術で地域に合った住宅環境を追求し、丈夫で長持ちする住まいづくりを進めながら、心安らく生活空間を提供していきます～

昭和32年に前身の藤田木材を設立。当時は地元の木を使って家を作っていました。外国産の安い材料の影響から、しだいに国内林業は衰退の一途をたどりまし。しかし現在では林業再興を願い、年間建築数20棟のほとんどを国産材で作っています。自社の特徴である一級建築士8人をはじめとする職人・技術者集団による熟練された知識と技術により、地域に適した住まいの形、工法、性能を提案、施工できるのが強みです。質の高い住宅にこだわり、孫の代まで長く快適に暮らせる長期優良住宅の普及促進に努めています。



また、30年間のメンテナンスサービスを行い、迅速なアフターケアも心掛けています。そのほか、耐震化や省エネ化、水回りの改善などのリフォーム工事が年間約150件あります。次世代省エネ基準に合致したエネルギー消費の少ない家造りを進めていて、今後は昔の蔵や温度差の少ない地下室空間をヒントに自然エネルギーを利用した自然と共生する住まい造り、雪国暮らしの価値や魅力、喜び、知恵を随所に感じられる家造りを目指していきます。

～鉄、ステンレスなどの精密板金や、機械部品などの溶接・組立までの一貫生産を行っています。今後も製作実績とノウハウを武器にさまざまなニーズに応え、若者にモノづくりの楽しさを伝えていきます～

株式会社 野村鐵工所



創業は昭和20年。織物工場が多いこの地域で、織物製造用機械の修理業を営んでいました。昭和40年代に鉄板の切断機などを導入したことを機に市内外の工作メーカーから引き合いがあり、工作機械用カバーの製造を受注。これが新たな分野に進出するきっかけとなりました。現在は、精密板金、機械のフレームや部品を製造しています。形状も厚さ1～50mmまでの加工処理が可能で、素材を選ばず金属加工ができます。平成19年に第3工場を新設し、市内でも数少ない大型クレーンを設置したことで、

8トン級の巨大な製品にも対応しています。大小さまざまな形状に加工できる技術と設備を元に、消雪パイプの自動センサー用フレームや制御盤などの小型製品から、反転機用フレームなどの大型製品を製造しています。今後は医療、福祉など幅広い分野にチャレンジしていくとともに、これまでの鉄工所のイメージを払しょくし、広くて明るくクリーンな現場を情報発信しながら、若者の働く場として、モノづくり産業の魅力が高まるよう取り組んでいきます。



株式会社 サンウッド新潟

代表者：代表取締役 藤田 求
 所在地：十日町市干溝二419-1
 連絡先：☎763-2552
 URL：http://sunwood-n.co.jp/
 従業員数：38人
 事業内容：建築工事の設計・施工・請負・監理など
 採用計画：宅建免許を持った営業1人
 理念/方針：お客様の信頼と安心に応える「家守り」「ホームドクター」



株式会社 野村鐵工所

代表者：代表取締役社長 野村 政一
 所在地：十日町市川治乙2246-1
 連絡先：☎757-0257
 URL：http://www.nomura-tekko.co.jp/
 従業員数：9人
 事業内容：精密製缶、精密板金、溶接、組立、建築金物、土木金物
 採用計画：随時募集
 理念/方針：技術と努力でお客様のニーズに応える



高齢化集落を中心とした支援活動を展開している里山センターでは、集落や地域が少しでも元気になるような活動のお手伝いをしていきます。今回は、市内でも高齢化率が高い集落でありながら、まず行動を起こそうと取り組みを始めている吉田地区中手集落について紹介します。

●先進地に学ぶ取り組み

中手集落の世帯数は、昭和35年頃の34世帯をピークに年々減少し現在は14世帯となっています。

世帯数や人口が減少すると、長い間集落で行われてきたお盆の行事やお祭りなどができなくなったり、道普請などの共同作業も実施することが困難になったりしてき



池谷集落での視察風景

田植え作業が終わった初夏の一日、集落の役員や協力隊員が里山センターの案内で、市内の池谷集落の視察を行い、集落の皆さんから今までの取り組みについて具体的な説明を聞きました。

●ワークショップで夢を語る

視察後は、集落に帰ってみんなで反省会。その結果、池谷集落で

ます。

集落では、「現状を踏まえて、なんとか集落が元気になる方策はないか」と話し合いました。

そこで、里山センターや地域おこし協力隊と情報交換するなかで、集落の戸数は少ないけれど、集落が元気に活動している地域を視察することになりました。



みんなでアイデアを出し合います

●小さな一歩が自信につながる

ワークショップでは、「まず、自分たちのできる事から始めてみよう」と言うことになりました。

県道沿いにある中手集落集会所前には、きれいでおいしく、とて

学んだことを忘れないうちに、みんなで集落づくりワークショップを開くことになりました。ワークショップ当日は、地域おこし協力隊や吉田地区振興会長も出席。区長をはじめ集落の皆さん総勢11人が参加しました。日頃考えている集落づくりのアイデアをメモ用紙に記入し、参加者全員に見えるように貼り出し、集落の元気づくりについて熱心に意見交換をしました。

も冷たい清水が湧いています。しかも2年ほど前に水質検査を実施した結果、飲料用としての基準に適合していることも判明。集落で水ガメや竹製のカップを置いて水場の整備をしようという意見がまとまりました。

早速、7月20日に集落の皆さんと協力隊員の共同作業で、今までは全く違うすてきな水飲み場が完成しました。

その後、夏の暑い日には水場に車を止めておいしそうに水を飲む人や、ペットボトルに水を汲む人たちが訪れるようになりました。集落の人たちはその様子を見て、集落の元気づくりの第一歩を踏み出す自信につながったようです。



名付けて「中手の名水」

今年も豊作、秋を味わう「仙田の収穫祭」

実りの秋を盛大に祝う「仙田の収穫祭」が10月30日(日)、仙田体験交流館キラリを会場に開催されました。この収穫祭は、仙田地域交流施設管理組合の主催によって企画され、今年で11回目の開催となります。



ずらりと並んだ農産物、どれも新鮮です

毎年大好評の「交流市」のコーナーでは、地元で採れた野菜や果物などが売り出され、今年も安くて新鮮な地元農産物を求めて、家族連れなど大勢の人が訪れました。

また、岩瀬体験農園でのサツマイモ収穫体験もあり、参加した人は、自分で掘り起こした芋を袋いっぱい詰めて、うれしそうに持ち帰る姿が見られました。



重たい！大きいイモが掘れたよ

このほか、地元食材を使った料理などを販売する「屋台村」や特設ステージでの「歌謡ショー」など一日を通してさまざまなイベントが行われ、仙田の秋を存分に味わえる収穫祭となっていました。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111



合唱コンクールの様子
この日のために練習を重ねてきました

川西中学校(保坂吉俊校長)は、本年度、創立50周年を迎えています。11月13日(日)には、同校体育館を会場に、創立50周年記念事業が開催され、記念の合唱コンクールと記念式典が行われました。当日は、来賓や生徒、教職員のほか、保護者や地域の人も多く集まり、半世紀の歩みを振り返り、新たな飛躍を誓いました。

さらなる発展を願って 川西中学校創立50周年記念



記念演奏の様子
迫力ある演奏が響き渡りました

合唱コンクールでは、代表生徒があいさつの中で、「川中50年の歴史の中で、最もすばらしい合唱コンクールにしましょう」と力強く宣言しました。各クラスとも、課題曲と自由曲の2曲を歌い、体育館には美しいハーモニーが広がりました。

記念式典では、実行委員長を務める同校後援会長が、「今までの歴史と伝統を守り、さらに発展してほしい」とあいさつしました。また、同窓会から記念品として、ステージ袖幕と楽器(ティンパニ)が贈られ、吹奏楽部による記念演奏で、奇贈を受けた楽器が披露されました。

同校は昭和36年に、当時の千手中学校と上野中学校を合併して創立。その後、橘・仙田・白倉の各中学校を統合して現在に至ります。平成23年3月末までの卒業生は6,444人を数えました。

湯コー米マイ心ハート
まつのやま
松之山支所
☎596-3131

自分の身は自分で守る「自主防災組織防災訓練」開催

11月3日(文化の日)、上川手集落自主防災会(代表…村山暁さん)の防災訓練が、同集落集会所で43人が参加し開催されました。これは7月5日に市主催による自主防災組織リーダー研修会で行われた災害図上訓練を自分の集落にあてはめての研修で、松之山地域では初めての開催でした。

講師は、NPOセーフティネット防災代表の尾身誠司さんほか3人の指導で、図上訓練を行うことにより、地域を知り災害に強い安心・安全なまちづくりと、長野県北部地震を教訓に、豪雪時の地震発生への対策を目的に研修が行われました。

研修は、3月12日早朝に発生



した長野県北部地震の際、「地震発生時の行動」「避難で大変だったこと」「道路状況はどうだったか」「また、もし豪雪時の23年1月31日(松之山庁舎前で9時現在、降雪85cm、積雪39.4cmの大雪)に発生したら状況はどのように変わっていたか」について一人ずつ意見を付せんに書いて貼るワークシヨップ形式で行われ、参加者は真剣な表情で研修に取り組んでいました。

地域の憩いの場「布川カフェ」オープン

11月11日(金)、松之山東川の旧布川保育所(布川地域協力隊事務所)に、笑顔と出会える場「布川カフェ」がオープンし、地域住民40人が参加しオープンを祝いました。このカフェは、お茶のみを基本に地域の憩いの場となるよう開設されました。営業日は毎週金曜日の午前10時から午後2時までとなっていて、布川地域に住んでいる人はどなたでも参加できます。運営については、「いきいき里山協力隊」が結成され、地域おこし協力隊が中心となり、十日町市里山センターとNPO法人松之山いきいき隊が連携を取りながら、地域の活性化をサポートしていきます。



オープニングセレモニーで、上布川地区協議会会長の樋口一次さんからは、「地域の憩いの場となるよう、また、心配ごとや悩みごとを一人で抱え込まないで気軽に立ち寄り、みんなでお茶を飲みながら語らい、楽しい1日を過ごしてほしい」とあいさつがありました。参加者はセレモニーの後、卓球大会やお茶を飲みながら鶴を折るなどして楽しいひと時を過ごしました。普段は昼食の用意はなく弁当持参での集まりですが、初日のこの日は昔懐かしいぬか釜で炊いた新米のおにぎりがふるまわれるなど、にぎわっていました。

きらめき 青春 32

吉田中学校「郡市中学校音楽交歓会にむけて」

吉田中学校の全校生徒86人は、11月9日(水)に行われた郡市中学校音楽交歓会の本番を翌日に控え最後の練習に励みます。'見上げてごらん夜の星を,'と'明日の扉,'の2曲をレパートリーに、朝のパート練習や放課後の全体練習など積み重ねてきました。

合唱を通して地域の皆さんに感動とエネルギーを吉中のハーモニーとともに届けていきます。



春日景太合唱部門長「文化祭での発表や交歓会にむけて一生懸命練習してきました。パートリーダーと協力しながらみんなが自主的に練習を重ねました。その結果、最初はばらばらだった合唱が、徐々にまとまってきたときはとてもうれしかったです。今年は震災や災害が多い年で、僕たちの心を込めた合唱で、地域の皆さんに元気を届けていきたいです。太田晴子先生「3年生がリーダーとなり、歌ってくれるときれいなハーモニーになり、全員が心を合わせていっしょに歌おうという雰囲気ができあがります。生徒たちの明るくさわやかな姿勢が合唱にも表れていてとてもうれしいです。合唱を通して、伝えたい気持ちをアピールして自信につなげていってほしいですね。」

★ 星空散歩

ブ...ラ...ネ...タ...リ...ウ...ム...
ドーム中里
きら・らからの便り⑩

★問合せ 中里公民館 ☎763-2493

宵の空、秋の“うお座”や“おひつじ座”の近くでひととき明るく輝く木星が見ごろです。木星の特徴である縞模様を観察するためには天体望遠鏡が必要ですが、ガリレオ衛星と呼ばれる木星の周りの4つの大きな衛星は双眼鏡でも確認することができます。これから先、木星が真南の空に位置する日時は、12月5日午後9時頃、12月20日午後8時頃、2012年1月5日午後7時頃です。木星は太陽系最大の惑星で、地球と比べ大きさは約11倍、重さは約318倍。表面のほとんどが水素とヘリウムからできていて、そのガスが美しい縞模様となっているのです。ガスの内部の様子はよく分かっていませんが、中心部に向かって液体や金属状になった水素、氷、核(岩)で形成されていると考えられています。木星が太陽の周りを1周する「公転」周期は約12

年です。地球と比べるとずいぶんのんびりしています。しかし、自分自身がコマのようにまわる「自転」となると話は違い、木星は10時間で1回転しています。今年の8月に木星探査機「ジュノー」がアメリカで打ち上げられました。木星まで約28億km飛行し、約5年かけて到着する計画です。ジュノーは、木星の内部の様子を調べるほか、太陽系誕生の謎についての解明が一步前進するとも期待されています。



©コニカミノルタプラネタリウム棟



木星と4大衛星

【12月の番組情報】

☆12月の星空(定期) ☆クリスマスの星(企画番組)
投影日: 12月4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日)
投影時間: 午前11時～(約40分間)

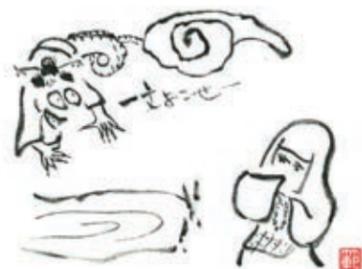
おひい! 昨日

(七十七)

「二つやの池」の巻 (ニツ屋)

今からずーっと昔のこと。水沢村に子宝に恵まれない染物屋の太郎兵衛夫婦が住んでいました。夫婦が蛇神様に子授けの願をかけると、蛇神様が夢枕に現れて、「わが子を受けけるゆえ自分の子だと思つて育てよ」と告げました。

間もなく女の子が生まれ、お松と名付けられました。母親は亡くなりましたが、お松はずんずん大きくなり、ある日、信濃川で捕まえた鮭を生きたまま食っているのを見た太郎兵衛は、「やっぱり蛇の子だ」と叫び、死んでしまいました。やがて、染物屋を継いだお松は太郎というムコを迎え、だんだんいじわるバサになっていきました。ある日、尼さんが手ぬぐ



いの染めを頼みました。太郎は快く引き受け、お布施の代わりにと代金を受け取りませんでした。後でそれを聞いたお松バサは「とてもねえこつた」と怒りました。そのころ、尼さんは越中立山の紺池のところまで行っていました。すると、雲の上から「染賃一文よこせ」というバサの声がしたので、尼さんが紺池に一文投げ入れると、バサの声はしなくなりました。そのころ、染物屋ではバサが藍がめからはい上がってきて、手には、しつかりと一文銭

が握られていました。お松バサはいよいよ年をとって、近所の人たちから善光寺参りに連れて行ってもらいました。ところが、長野に着いた日の夜、宿の天井から竜が現れてお松バサに襲いかかり、たまたたバサは死んでしまいました。ムラの衆は、しかたなくバサをかごに乗せて水沢村に向かいました。ところが、六箇の二ツ屋まできたとき、急にかごが重くなって、何人がかりでも動かなくなっていました。皆が不思議に思っていると、急に空が暗くなり、大雨が降りだしたかと思うと、かごを破って竜の姿になったお松バサが出てきて、どこかへ飛んでいきました。

やがて雨が止むと、さつきまで田んぼだったところに池が出来ていました。ムラの衆が中をのぞいてみると、池の底から竜が現れて、すぐに引っこ込んでしまいました。お松バサは、こうして池の主になりました。

昭和の十日町 No.32

～山内写真館の世界～

道路拡張前の本町通り商店街

- 撮影時期: 昭和43年8月
- 撮影場所: 本町3丁目から2丁目方向

本町通りに面した家々は、トタン屋根の庇が前面に突き出し、それらが連なって通路(ガンギドーシ)を作っていました。雁木の下は私有地ですが、道路が雪に埋められると歩行空間として重宝されました。

●問合せ: 情報館 ☎750-5100



小中一貫教育

その8

■問合せ：学校教育課 ☎757-3336

下条・川西・中里・松代のモデル中学校区の試行状況を4回シリーズで紹介します。第2回・川西中学校区

○小・中学校の立地状況

中学校区内にある小学校3校が中学校と離れている、小中一貫教育の連携型モデルです。

○育てたい子どもの姿

地域に誇りと愛着をもつ創造性豊かな川西っ子

○重点事業

児童生徒の人間関係づくり

○徳の育成

「思いやりのある川西っ子」の育成を目指し、いじめ・不登校のない学校づくりを進めています。その中軸として、児童生徒の発達段階に応じた9年間の社会性育成プログラムを作成し、仲間とのコミュニケーション力や自信を持って主体的に行動する力、自己決定・自己管理能力の力など、人間関係づくりのものとなる力を育てます。ほかに、9年間のプログラムに沿っ

○知の育成

「自ら学ぶ川西っ子」の育成を目指して、分かる授業を教職員が工夫し、学力が向上する取り組みを進めています。乗り入れ授業、小中合同音楽鑑賞会、小・中学校教職員合同研修会、複数教師による指導や個別指導などを行います。

○体の育成

「心身ともにたくましい川西っ子」の育成を目指し、体力・運動能力の向上や基本的な生活習慣が定着する取り組みを進めています。小・中学校合同陸上練習、中学校の体育祭に小学6年生が参加するなど、交流活動を兼ねた取り組みも行います。

新 コメを食べよう!!

米を使ったレシピ集⑧

●問合せ 産業観光企画課 ☎757-3691

詰め詰めレンコン

◆材料 (24切れ分)

- ・肉みそ…80g
- ・ごはん (魚沼産コシヒカリ) …50g
- ・パセリ…10g
- ・レンコン…200g
- ・米粉…5g
- ・炭酸水…5cc
- ・揚げ油 適宜



◆作り方

- ①パセリをみじん切りにする。
- ②ごはん、肉みそ、①のパセリを混ぜ合わせる。
- ③よく洗ったレンコンに②をぎゅうぎゅうに詰める。
- ④③を1cmの半月型に切る。
- ⑤炭酸水に米粉を溶き、④をつける。
- ⑥170℃の油でじっくり揚げる。



とおかまち観光ドット混む情報

.com

観光交流課 ☎757-3100

十日町オリジナル観光パンフレット始めます

〔社〕十日町市観光協会では、十日町市を訪れる観光客の皆さんから効率良く市内を周遊してもらうために、平成24年1月から「十日町オリジナル観光パンフレット」事業を開始します。

「十日町オリジナル観光パンフレット」は、職員が事業提案を行う、昨年度の職員知恵出し会議で提案された「十日町市観光バイキング化計画」事業の一つです。

サービスは、市観光協会のホームページからも利用できるため、お出かけ前に周遊コースを決めるのにも便利です。ぜひご利用ください。

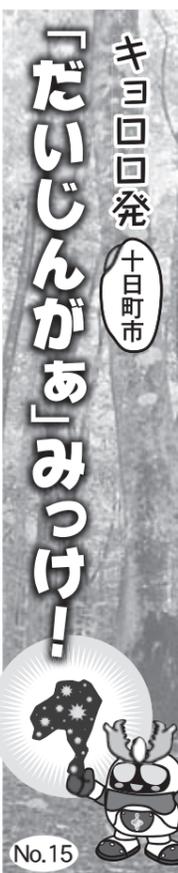
■問合せ：〔社〕十日町市観光協会 ☎757-3345

パソコンなどを使い地図上に表示される観光施設の中から、自分の行きたい場所を登録すると、現在地から登録施設までの所要時間とルートが表示されます。複数の観光施設を登録することが可能なため、移動手段や滞在時間に合わせた観光ルートが簡単に作成できます。

十日町駅西口、まつだい駅の観光案内所には、タッチパネル式の専用端末を設置し、その場で印刷もできますので、誰でも手軽に自分だけの観光パンフレットを作成できます。また、この



操作画面のイメージ



No.15

地衣類―ブナの幹の模様の正体―
ブナの幹といえば、独特の斑点のようなモザイク模様を連想する人も多いと思います。雨にぬれたブナの幹は、この模様がさらにはつきりと浮かび上がります。実はこの模様、ブナの幹本来の模様ではなく、「地衣類」という立派な生き物なのです。

地衣類は、菌類と藻類という全く異なる2種類の生き物から成る共生体です。模様の形自体は菌類が作っていて、その内部に藻類が住んでいるのです。

菌類は、安定した住み場所を藻類に提供し、藻類は光合成によって作った養分を菌類に提供しています。地衣類を構成する両者の関係は、人間と農作物や家畜との関係に似ていることから、地衣類の菌類のことを「農業をすすめる菌類」と表現することもあります。

地衣類は環境による影響を受けやすく、ブナ林によって地衣類の種類や量が違います。「あの山の

ブナが白っぽいのはブナの種類が違うの？」などと聞かれることがあります。ブナの種類の違いではなく、地衣類の付き方(幹の模様の違い)によるものです。

■問合せ キヨロコ ☎595-8311





このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報聴係（☎757-3112）へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

まちの話題

TOWN TOPICS

25年間にわたり寄付 十日町高校定時制生徒会



11月8日(火)、十日町高校定時制生徒会の皆さんが関口市長を訪問し交通遺児等援助基金寄付金を手渡しました。十日町高校定時制生徒会では昭和62年から毎年寄付を行い今年で25回目、金額は累計で100万円を超えました。生徒会長の内田一秋さん（4年）は、「商店の皆さんから物品を寄付してもらい、それを文化祭のチャリティーバザーで販売した収益金を毎年寄付してきました」と活動を振り返りました。関口市長からは25年にもわたる長年の寄付の継続をたたえ、生徒会に感謝状が手渡されました。

各地で開催された公民館まつり

10月から11月にかけて公民館まつりが各公民館で開催されました。11月3日（文化の日）には吉田公民館で第9回吉田公民館祭りが開催され、子どもたちに大人気の綿あめ、ポップコーンに行列ができていました。また、芸能祭にもぎやかに開演され、家族そろって楽しめるお祭りに育っています。これまでで一番の人数に、活気いっぱいの公民館まつりになりました。11月6日(日)に旧名ヶ山小学校で開催された第10回名ヶ山文化祭では、子どもたちの作品やみごとな松の盆栽などが展示されました。また毎日練習を重ねた恒例の劇がすばらしく、進行役の名司会ぶりに大笑い。手作り感満載の文化祭でした。同じく6日に旧真田小学校で行われた第6回秋ぶるめは、豪快な餅つきで、一気に盛り上がり、おいしいトン汁といっしょに、つついお代わりして食べ過ぎてしまう人も。あいにくの天気でしたが、プロの芸人によるショーが行われ、大笑いしました。田島征三さんはじめ、美術館の応援団も恒例の参加。地域の野菜の展示即売も好評で、どちらも元小学校の学区が地域活動の中心になっていることを、再確認できた一日になりました。（市民リポーター：門脇洋子さん）

10月29日(土)・30日(日)には、中央公民館で公民館まつりが開催され高齢者が対象の生涯学習事業、明石学級の成果が発表されました。特に入口ロビーでは歓声上がるほどの華やかさに驚き、美しい花園でお客を迎える工芸に感激しました。高学年会会長の池田さんは、「各出展のクラスごとにじっくりとみえるよう工夫や趣が凝っていて楽しく学ぶところもありました」と話していました。（市民リポーター：高橋都さん）



中央公民館ロビー



第9回吉田公民館祭り



第10回名ヶ山文化祭



第6回秋ぶるめ

キナーレで環境フェアを開催

10月30日(日)、キナーレで環境フェアが開催されました。会場は、エコに関するあらゆる協会や法人が一堂に会し、多くの人でにぎわいました。たくさんの方の人数に、いかに多くの皆さんがエコについて考えているかと感心しました。事務局の佐藤仁さんは、「環境フェアでは、自然にやさしい再生エネルギーの紹介や新エネルギーを利用した機器の展示を行っています」と説明。会場ではフリーマーケットなどの販売コーナーが立ち並び、発電機を回しておもちゃの電車を動かすコーナーがあるなど、参加者たちは普段何気なく使う電気のありがたさを実感していました。（市民リポーター：高橋都さん）



「第1回 秋のフィットネスまつりin十日町」開催

10月29日(土)・30日(日)、ネージュスポーツクラブ主催の「第1回 秋のフィットネスまつりin十日町」が市総合体育館とサンクロス十日町で開催されました。今回の講座のために、テレビや雑誌にも出演する著名なインストラクター9人が来市。エアロビクスなどの体を動かす講座から栄養を学ぶ座学、インストラクター向けの養成講座など、子どもから高齢者まで楽しめる14種類の講座を開講し、2日間で県内外から延べ300人の参加者が集まりました。参加者からは、「今後もぜひやってほしい」との声が聞かれ、「フィットネス＝激しい」というイメージを変える、誰もが楽しく体を動かせるイベントとなりました。今後も十日町市の一大イベントとなるよう継続して活動していく予定です。（市民リポーター：小川将吾さん）



各国の大使家族がアートと里山を満喫

10月29日(土)・30日(日)の2日間、世界7か国の大使とその夫人9人が妻有地域（十日町市・津南町）を訪れ、大地の芸術祭作品や里山の魅力を満喫しました。これは、観光庁の支援を受けて妻有地域の観光資源に対する意識調査などを目的に開催したもので、市内では初の試みです。ツアー2日目の昼食会では、うぶすなの家で地元食材をふんだんに使った料理に舌鼓を打ちました。エルサルバドルのマルタ・セラヤンディア大使は、「持続可能な社会のモデルとなり得るおぼろの地域」と話していました。

市内遺跡発掘調査速報展

平成17～22年度に調査された主要遺跡の出土品を展示します。また、今年解体修理された森上遺跡（中里地域）の火焰型土器を初公開します。

- ◆会期：11月26日(土)～平成24年3月25日(日) 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで) ※毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始は休館
- ◆入場料：高校生以上300円(中学生以下無料)
- ◆出土品展示遺跡
 - ①田沢遺跡(縄文時代草創期・早期)
 - ②貝野沢田遺跡(縄文時代草創期・後期)
 - ③清津宮峯遺跡(縄文時代早～前期)
 - ④真萩田遺跡(縄文時代早～後期)
 - ⑤上ノ山開墾地遺跡(縄文時代中～後期)
 - ⑥梶花遺跡(縄文時代中～後期)
 - ⑦貝野久保遺跡(縄文時代中～後期)
 - ⑧樽沢開田遺跡(縄文時代後～晩期)
 - ⑨上屋敷遺跡(旧石器・縄文時代早～前期・平安)
- ◆会場・問合せ：博物館 ☎757-5531

問合せ|| 服部 (☎090-4599-0830)

第3回 ハンドメイドの雑貨屋さん

全て手づくりのぬくもりのある雑貨屋。楽しいワークショップや癒しのアロママッサージもありです。●日時|| 12月10日(土)・11日(日)午前10時～午後4時 ●会場|| 駅西雪国ドミノ式モデルハウス ●問合せ|| 桑原 (☎757-3308)

GUIDE

お知らせ・ガイド

双子ちゃんの親子のじい

双子や三つ子を育てながら日ごろ感じていることや育児の工夫など、おしゃべりしませんか。●日時|| 12月7日(水) 午前10時～11時30分 ●会場|| 子育て支援センターくるる ●参加費|| 無料 ※子どもの飲み物などは各自持参してください ●申込み・問合せ|| 12月5日(月)までに子育て支援課保育園係 (☎757-9169)

やすい服装で参加してください。●日時|| 12月4日(日) 午前8時30分～午後5時30分 ●会場|| 十日町地域消防本部 ●対象|| 中学生以上で市内・津南町の在住者・在勤者 ●受講料|| 100円(テキスト代) ●定員|| 先着20人 ●申込み・問合せ|| 十日町地域MC協議会事務局(十日町地域消防本部 警防課救急係内 ☎757-1558)

しめ縄作り教室

●日時|| 12月10日(土) 午前9時30分～11時30分 ●会場|| 吉田公民館 ●対象|| 小学生以上の市民 ※小学3年生以下は保護者同伴 ●参加費|| 無料 ●持ち物|| はさみ、わら(自分のわらを使いたい人は持参) ●申込み・問合せ|| 12月6日(火)までに吉田公民館 (☎752-2874)

十日町商工会議所商業部会 年末大感謝祭

12月1日(木)～25日(日)の売り出し期間中、加盟店で買い物をするにもらえる補助券3,000円分で、抽選が1回で

十日町市内就労支援等事業所 チームわっか10

障がい者週間にちなみ、市内の7つの就労支援等事業所が、地域の皆さんに商品のPRを行い、日頃の活動などを発表します。●日時|| 12月9日(金) 午後1時～4時、10日(土) 午前10時～午後4時 ●会場|| ぼほろ広場(本町分庁舎内) ●参加費|| 無料 ●問合せ|| しぶみの家 (☎597-3516)

第2回 家族介護教室・介護者交流事業

●日時|| 12月14日(水) 午後1時30分～3時30分 ●会場|| 特別養護老人ホーム三好園 ●内容|| 「介護何でも相談会」懇談会 ●講師|| 波形千恵子さん(市福祉課おとしより相談係長) ●参加費|| 無料 ●問合せ|| デイサービスセンター三好園 (☎756-2106)

GUIDE

募集

公営住宅入居者募集

●募集期間|| 11月29日(火)～12月12日(月) ※申込み条件の詳細は問い合わせください ●申込み

きます。●抽選日時|| 12月22日(木)～25日(日) 午前10時～午後7時(25日は6時まで) ●抽選会場|| 本町分庁舎 ●問合せ|| 十日町商工会議所 (☎757-5111)

聞かせ屋。けいたろう 絵本ライブ

昨年度の情報館まるごと体験フェアで絵本ライブを行ったけいたろうさんが、絵本を楽しませてくれます。●日時|| 12月3日(土) 午後2時 ●入場料|| 無料 ●内容|| 小学生低学年向け ●会場・問合せ|| 情報館 (☎750-5100)

十日町おやこ劇場

「タップダンス・エンターテインメントショー」TAP DANCE ●日時|| 12月4日(日) 午後3時～(60分) ●会場|| 津南町文化センター(津南町) ●対象|| 年中以上の子ども1人月額700円(当日申込み可)

「わくわくキッズ(未就園児サークル)」「英語であそぼ&親子でリズム」 ●日時|| 12月1日(木)・15日(木) 午前10時45分

第21回 チャリティ展覧会

会員の作品を展示・販売します。●日時|| 12月10日(土)・11日(日) 午前9時～午後8時(11日は4時まで) ●会場|| 中央公民館 ●入場料|| 無料 ●問合せ|| 若月 (☎090-7428-0558)

2012年度奨励学生募集

詳しくは問い合わせください。●対象|| 次の全てに該当する人 ①県民の子どもで、4年制大学に進学または在学する人 ②母子・父子家庭の人 ③家計の都合で学資の支払い

「森の学校」キョロロ 12月の里山体験プログラム

日 時・テーマ	
4日(日)	午前10時～正午、午後1時～3時 里山のものづくり体験(しめ縄・正月飾り作り)(入館料のみ)
11日(日)・23日(祝)	午後1時～2時30分 里山の生き物探検
18日(日)	午前10時～正午、午後1時～3時 里山のものづくり体験(あんぼ作り)(入館料のみ)
24日(土)	午前8時30分～11時30分 探鳥会(無料)

※小学3年生以下は保護者の同伴が必要です

- 入館料：大人500円、小・中・高生300円(市内小・中学生は無料)
- 参加費：大人500円、小・中・高生300円
- 集合・問合せ：キョロロ ☎595-8311

山内写真館資料 まちなか写真展

「山内写真館資料写真展」から選りすぐった写真を展示します。懐かしい町並みや暮らしに出会えます。●日時|| 12月1日(木)～20日(火) 午前8時～11時45分 ●会場|| 中央公民館 ●問合せ|| 丸山 (☎90-2548-0507)

高校写真部による東日本大震災復興応援プロジェクト メッセージ写真展

全国の高校写真部の生徒が各地で集めた応援メッセージや、被災した地域の人々からのメッセージを写真に収め、展示します。※12月4日はメッセージ撮影も行います ●期間|| 11月29日(火)～12月4日(日) 午前9時30分～午後5時30分(4日は4時30分まで) ●会場|| 情報館 ●入場料|| 無料

み・問合せ|| 都市計画課建築住宅係 ☎757-9935

物件	間取り	家賃(月)	戸数
十日町 田川住宅(世帯用)	昭和53年度建築 6帖2室、DK 4.5帖1室、DK	14,800円～22,000円	1戸
大黒沢泉宮住宅(世帯用)	昭和46年度建築 6帖3室、DK 3帖1室、DK	19,700円～29,400円	1戸
川西 栄町住宅(世帯用)	昭和50年度建築 8帖1室、DK 6帖2室、DK	20,000円	1戸
みのり団地(特定公共賃貸住宅)	平成10年度建築 6帖3室、LDK	50,000円	1戸

が困難であると認められる家庭の人 ●募集人数|| 10人 ●奨学金額|| 月額2万円(1人最高96万円) ●返還方法|| 卒業または貸与の終了した翌月から8年以内(年間返還額12万円以上) ●利息|| 無利息(延滞した場合は利息を加算する場合あり) ●応募締切り|| 24年1月27日(金) ●問合せ|| 財新潟県勤労者福祉厚生財団 (☎025-223-8211)

放送大学4月生募集

放送大学では、24年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。詳しくは問い合わせください。●出願期限|| 24年2月29日(水) ●問合せ|| 放送大学新潟学習センター (☎025-28-2651)

GUIDE

税

11月の納税・納付

11月は固定資産税第4期、

国民健康保険税第8期、後期高齢者医療保険料第8期及び介護保険料第8期の納付月です。期限(11月30日)内に納めましょう。●問合せ☎ 税務課・市民生活課・福祉課

GUIDE
その他

10月の3歳児健診を受けた子32人

よい歯の子	住所	保護者
村山響紀	(本町1下)	裕之
徳永惟吹	(高田町3南)	正人
柴野こはる	(西本町2)	啓輔
春日未鈴	(西本町3)	誠
澤津詩音	(田中町西)	義樹
津崎月崇	(田川町3)	吉一
福太庭野	(新座2)	和城
竹尾裕幸	(南新田町2)	直孝
大倉萌々	(四日町1)	研一郎
星野友那	(尾崎)	美智雄
遠田紗凜	(川治中町)	佑太
岡田知樹	(北新田2)	久
北井琴葉	(塚原町)	和義
片桐杏亮	(山本町3)	浩之
村越美緒	(千歳町2・3)	広太郎
小海榮空	(名ヶ山)	一弘
米山昂佑	(新保)	明
富井雅晴	(水沢2)	政史
石澤祐希	(大黒沢東)	和一
原花菜	(田中)	潤平
室百太郎	(田代)	篤
柳綾汰	(松代)	秀貴
村山愛織	(犬伏)	麻奈美
	(上川手)	光志

※保護者の承諾を得て掲載しています

12月の休館日

- 中央公民館☎ 毎週月曜日・23日(祝)・29日(木)・31日(土)
- 千手中央コミュニティセンター☎ 毎週火曜日・23日(祝)・29日(木)・31日(土)
- 博物館☎ 毎週月曜日・29日(木)・31日(土)
- 情報館☎ 毎週月曜日・29日(木)・31日(土)
- 市総合体育館☎ 20日(火)・29日(木)・31日(土)
- 川西総合体育館☎ 14日(水)・28日(水)・31日(土)
- 松代総合体育館☎ 毎週月曜日・29日(木)・31日(土)
- キョロロ☎ 毎週火曜日・26日(月)・31日(土)
- ひだまりプール☎ 毎週火曜日・24日(土)・31日(土)

十日町駅地下道に作品を展示しています

12月は、十日町駅地下道「市民のいこいの広場」に下条中学校区の児童・生徒の作品を展示します。ぜひご覧ください。●問合せ☎ 中央公民館☎ 757-5011

小中一貫教育説明会

12月の開催予定です。○は保護者のみの参加ですが、●はどなたでも、◎は学区内の人ならどなたでも参加できます。●日時・会場(会議名)☎ 〇2日(金)午後3時〜松之山小学校(2学期末PTA懇談会) ●6日(火)午後2時55分〜松里小学校(2学期末PTA懇談会) ◎8日(木)午後2時30分〜

認定外道路除雪事業補助金のご案内

市道認定されていない道路「認定外道路」でも、幅員2m以上あり、平場では人家5戸以上、中間地では4戸以上、山間地では3戸以上の道路除雪に対して補助を行います。詳細は問い合わせください。●問合せ☎ 建設課維持係☎ 757-9932

子ども手当の申請手続きをお願いします

10月以降の子ども手当を受

無料休憩所「ふらっとステーション」をご利用ください

休憩、バスの時間待ちや絵画、写真などの作品の発表の場として利用できます。こたつ付きの小部屋もあります。※会議などで部屋を使用する

シベリア戦後強制抑留者特別給付金は早めに請求を

●対象☎ 旧ソ連邦またはモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有する存命の人 ☎ 対象の日以降に死亡した人の相続人も請求できます ●請求期限☎ 平成24年3月31日(土) ●問合せ☎ 福祉課係☎ 757-9739、平和祈念事業特別基金☎ 0570

プレミアム商品券の使い忘れに注意してください

プレミアム商品券の使用期限は11月30日(水)までとなっています。期限を過ぎた商品券は無効となりますので注意してください。●問合せ☎ 十日町市プレミアム商品券実行委員会☎ 757-5111

12月4日(日)〜10日(土)は「人権週間」です

人権擁護委員協議会と法務局では期間中、次のとおり特設人権相談所を開設します。

十日町市プレミアム商品券実行委員会(十日町商工会議所内☎ 757-5111)

高齢者と障がい者の困りごと無料法律相談

高齢者や障がい者本人からの法律相談や、その家族からの本人に関する法律相談に応じます。●日時☎ 12月10日(土) 午前10時〜午後4時 ●会場☎ 新潟県弁護士会館(新潟市) ●内容☎ 財産管理、成年後見、遺言・相続、悪質商法、借金保証、貸金、離婚・離縁、土地建物の賃貸借、刑事事件、交通事故、労働問題、年金、社会福祉制度など、法律相談の内容は問いません。●相談方法☎ 電話相談(予約不要)☎ 0570-045533、面接相談(予約必要)☎ 025-222-5533 ●問合せ☎ 新潟県弁護士会☎ 025-222-5533

「2倍の値段で買い取る!? 社債の勧誘」にご注意!!

最近、次のような相談が増えています。**【事例】**A社から「社債」の申込書が届いた。後日、B社から電話があり、「A社の社債は選ばれた人しか買えない。ぜひ買ってほしい。高く買い取る。」と言われた。さらに、C社からも「A社の社債を欲しがっている人がいる。代わりに買ってほしい。2倍で買い取る。」と電話があった。信用してしまい、社債100万円分を購入した。しかし、その後B・C社ともに連絡が取れなくなってしまい、だまされたことに気がついた。**【アドバイス】**申込書が届くだけでなく、実際に買い取り希望の業者からも連絡があるなど、「劇場型」と呼ばれる勧誘方法です。事例の社債の他にも「未公開株」「外国通貨」「鉱山の採掘権」「仏像」「永代供養の権利」など、次々と新しい種類の商品や権利が出てきています。“おいしい話”には注意してください。おかしいと思ったら、すぐに相談してください。

●相談時間☎ 平日午前9時〜午後4時 ●問合せ☎ 市消費生活相談窓口(産業振興課内☎ 757-3740)

情報館 12月のテーマ図書

「未来」(『どうすれば「人」を創れるか』『大人の宇宙図鑑』など未来の世界をのぞき見る本を紹介します) 「追想 2011年」(『闘う日本 東日本大震災一カ月の全記録』『これならわかる日本の領土紛争』など、今年の出来事にちなんだ本を紹介します) 「ふってきたふってきた」(『あっおちてくるふってくる』『雪の結晶ノート』など空から降ってくるもののお話を紹介します) 「神沢利子を読む」(『くまの子ウーフ』で知られる神沢利子の作品を紹介します※11月20日(日)から展示しています) ※テーマは一部変更したり追加したりする場合があります ●問合せ☎ 情報館☎ 750-5100

十日町市の観光資源画像を年賀状作成にご利用ください!

市内の観光資源画像を年賀状に活用してもらうため、市観光協会ホームページ(<http://www.tokamachishikankou.jp/>)から、各種画像を取り込めるようにしていますので、ご利用ください。 ◆提供している画像

- ・十日町雪まつり雪上カーニバル
- ・雪の信濃川
- ・ミス十日町雪まつり
- ・国宝火焰型土器
- ・大白倉のバイトウ
- ・雪原カーニバルなかさと
- ・清津峡の紅葉
- ・儀明の棚田
- ・越後まつだい冬の陣
- ・婿投げ
- ・松之山温泉湯やぐら

 ◆問合せ☎ 十日町市観光協会☎ 757-3345

●休日救急医

●診療時間：午前8時30分～午後5時
 ※昼休み時間が医療機関により異なりますので、午後の診療開始時間は問い合わせてください

期日	医療機関名	住所	電話番号
4日(日)	富田医院	発電所通り西(川西)	761-0200
	津南病院	津南町	765-3161
11日(日)	池田医院	本町西1	752-2581
	上村病院	田中(中里)	763-2111
18日(日)	川西診療所	高原田(川西)	768-2034
	石川医院	津南町	766-2061
23日(祝)	(十)山口医院	袋町中	752-2174
	倉俣診療所	芋川(中里)	763-2147
25日(日)	大熊内科医院	山本町1	752-7066
	松之山診療所	松之山	596-2240
31日(土)	池田医院	本町西1	752-2581

●乳幼児健診

- ◎会場…十日町保健センター(市役所隣)
- ◎持ち物…母子健康手帳、問診票、フッ化物歯面塗布希望確認票(1歳6か月児のみ)、視聴覚アンケート(3歳6か月児のみ)、着替えやおむつなど必要なもの
- ◎健診は体調の良いときに受診してください。欠席や体調が心配な場合は、本庁または各支所へ連絡してください
- ◎3歳6か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は本庁へ連絡してください
- ◎健診終了時間が遅くなることがあります。ゆとりをもって来てください

事業名	期日	受付時間	対象児
4か月児健診	21日(水)	午後1時～1時30分	23年8月生まれの乳児
10か月児身体測定	22日(木)	午前9時～9時30分	23年2月生まれの乳児
1歳6か月児健診	14日(水)	午後1時～1時30分	22年6月生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	21日(水)	午前9時～9時30分	21年6月生まれの幼児
3歳6か月児健診	15日(木)	午後1時～1時30分	20年6月生まれの幼児

健康相談・休日救急医・離乳食教室・乳幼児健診・乳幼児の健康相談の問合せ

十日町本庁(代表) ☎757-3111	川西支所(市民課直通) ☎768-4956	中里支所(市民課直通) ☎763-3121	松代支所(市民課直通) ☎597-2221	松之山支所(市民課直通) ☎596-2169
------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------

▼10月25日号のクロスワードパズル、皆さんいかがでしたか。パズルの答えは『キノコ』『クリ』でしたが難しかったでしょうか。今回クロスワード作りに挑みましたが、解くよりも作る方が何十倍も難しいです。「黒マスは連続しないほうが好ましい」「隅に黒マスを置かないほうが好ましい」などの慣例があるらしく四苦八苦しながら作り上げました。そのうえ十日町に関する単語も織りこむとなると四苦八苦どころではありません。けれどもたくさん届いたハガキの「楽しかった」「またやってほしい」の言葉で苦勞が報われました。次はお正月スペシャルでしようか?誰かネタを提供してください(笑)。(佐)

●離乳食教室

事業名	対象児	開催日
離乳のはじめてコース	2か月～4か月児	2日(金)
ステップアップコース	6か月～9か月児	16日(金)

会場 十日町保健センター(市役所隣)
 受付時間 午前9時45分～10時
 直接会場へおいでください
 持ち物 母子健康手帳・筆記用具

●健康相談

保健師による相談

期日	会場	受付時間
5日(月)・19日(月)	十日町保健センター(市役所隣)	午前9時30分～11時30分
6日(火)	川西庁舎	午前9時～11時
8日(木)	吉田公民館	午前9時30分～11時30分
9日(金)	水沢公民館	午前9時30分～11時30分
16日(金)	中条公民館 下条公民館	午前9時30分～11時30分
19日(月)	中里庁舎 松代庁舎	午前9時～11時30分
26日(月)	松之山庁舎	午前9時～11時30分

※健康手帳のある人は持参してください

●乳幼児の健康相談 対象は乳幼児とその保護者です

期日	会場	受付時間
7日(水)	千手中央コミュニティセンター	午前9時30分～正午
8日(木)	子育て支援センター「くるる」 子育て支援センター「にこにこ」	午前10時～11時30分 午前9時～11時
13日(火)	子育て支援センター「きらりん」	午前10時～11時
20日(火)	子育て支援センター「すくすく」	午前9時～11時30分

▼過こしやすい秋も終わり、日に日に寒く感じるようになってきました。さらに寒くなる冬、再び節電シーズンがやって来ます。東北電力管内では、具体的な数値目標は設定されないようですが、引き続き節電への協力は必要です。
 ▼冷え症持ちで寒がりの私にとつて、冬はとてつもない季節。ウォームピズや防寒グッズが、近頃の関心事になっていきます。今年は節電の影響から、例年以上の新しい防寒グッズが販売されることを期待しています。今年こそ自分に合った防寒対策に巡り会い、これからの寒い季節を、少しでも暖かくして過ごしたいものです。(池)

●ちびっこひろば

なかよしランド

- 日時 6日(火)・13日(火)・20日(火) 午前10時～11時
- 会場 サンクロス十日町
- 対象 1歳～就園前のお子さんとその保護者
- 問合せ 中央公民館 ☎757-5011

いっしょにあそぼ

- 日時 1日(木)・8日(木)・15日(木)・22日(木) 午前10時～11時
- 対象 未就園児とその保護者
- 会場・問合せ 水沢公民館 ☎758-3101

ぐりぐりルーム

- 日時 10日(土) 午前10時～11時
- 会場 下条公民館
- 対象 乳幼児～小学生
- 問合せ 水落 ☎756-2254

おはなしひろば

- 日時 17日(土) 午前10時～11時
(クリスマス会～サンタも来るよ～)
- 対象 幼児～小学生
- 会場・問合せ 中里公民館 ☎763-2493

おはなしたまたまばこ

- 日時 8日(木) 午前10時～11時
- 対象 乳幼児とその保護者
- 会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

読み聞かせの会「どんぐり」

- 日時 17日(土) 午後2時～3時
- 対象 幼児～小学生
- 会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしぴよぴよ

- 日時 10日(土)・24日(土) 午前10時30分～11時
- 対象 乳幼児
- 会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしの会「ふきのとう」

- 日時 17日(土) 午前10時～11時
- 会場 千手中央コミュニティセンター
- 対象 乳幼児～小学3年生
- 問合せ 保坂 ☎090-7814-9462

十日町おやこ劇場～おはなしてんこもり～

- 日時 3日(土) 午前10時30分～11時30分
- 会場 中央公民館
- 問合せ 加賀書院 ☎752-2114
- ※加賀文庫の絵本の貸し出しも行っていきます

●心配ごと相談 問合せ 社会福祉協議会 ☎750-5010

会場：社会福祉協議会(本所・支所)
 時間：午後1時30分～4時
 ▼十日町本所 毎週木曜日※29日を除く
 ▼中里支所 16日(金)
 ※川西、松代、松之山は随時受け付けています

●こころの健康相談

不眠、不安、意欲の低下などで悩んでいませんか。本人でも家族でも無料で相談できます。※要予約
 ●日時 15日(木) 午後2時～4時
 ●会場 十日町保健所
 ●医師 佐藤医師(中条第二病院)
 ●申込み・問合せ 十日町地域振興局地域保健課 ☎757-2402

●臨床心理士こころの相談会

人間関係や家庭問題などで悩んでいませんか。無料で相談できます。※要予約
 ●日時 7日(水) 午後1時～3時
 ●会場 十日町保健センター(市役所隣)
 ●申込み・問合せ 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

●各種相談のお知らせ

- ジョブカフェ(若者のための仕事相談) おおむね30代半ばまでが対象です。ジョブカフェながおか(☎0258-38-6181)へ要予約 2日(金) 午前10時～午後3時(本町分庁舎)
- 法律相談 市民生活課市民年金係(☎757-3116)へ要予約 毎週木曜日※29日を除く 午後1時30分～4時(本庁相談室)
- 行政相談 2日(金) 午後1時～4時(社協松代支所) 9日(金) 午前10時～正午(本庁相談室) 17日(土) 午後1時30分～3時30分(中里庁舎) 21日(水) 午後1時30分～3時(はあとふる川西)
- 人権相談 6日(火) 午前10時～午後3時(仙田体験交流館)
- 定例年金相談 8日(木)・22日(木) 午前10時～正午、午後1時～3時(クロス10)
- 多重債務相談(借金トラブル) 市消費生活相談窓口(☎757-3740)へ要予約 14日(水) 午後1時30分～4時30分(本庁相談室)
- 消費生活相談電話(買い物や契約で悩んでいる人) 月～金曜日(休日・祝日・年末年始を除く) 午前9時～午後4時 ☎757-3740
- 教育・少年相談 月～金曜日(休日・祝日は要予約・年末年始を除く) 午前9時～午後5時(教育センター・川西庁舎内) ※電話相談(☎756-5010)や訪問も行っていきます
- 女性相談専用電話 月～金曜日(休日・祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分 ☎757-3701
- 手話奉仕員窓口配置 日時：12日(月) 午前11時～午後3時 配置場所・問合せ：福祉課 ☎757-3782

熱中 この時 夢中 44

十日町だるまの会

自分たちができる災害ボランティアを

東日本大震災・長野県北部地震をきっかけに、市内の飲食店などを経営している人たちが中心となって結成された十日町だるまの会。5月に岩手県山田町にて炊き出しのボランティア活動を行いました。これからも助け合いの精神で活動を続けていきます。

問合せ 小杉幸二さん（代表）
☎090-2460-9493



5月に行った岩手県山田町での炊き出し。魚の煮物、すし、クレープ、わたあめなど多種多様な食べ物の提供で会場は大にぎわい。炊き出しを通じて再会する場面もみられました。

今後の活動を計画する会議。現場の情報が聞き伝えであるため、判断や準備が難しいことも。



10月の「職（食）人ごったく」では、十日町だるまの会としてごったく鍋を販売。売り上げの一部が義援金に充てられました。

● 会員募集中！
十日町だるまの会では随時、会員を募集しています。興味をお持ちの人は、問合せ先まで連絡してください。

「中越大震災のときは、多くの人が支援していただきました。いつかこの恩を返したいと思っていただけ矢先に、今回の震災が起きてしまい、同じ思いの仲間が集まりました」と話すのは、代表の小杉幸二さん（四日町2・43歳）。4月に仲間に声をかけ、1か月で準備し、その後岩手県山田町へ炊き出しに行きました。

「被害を受けた街に入った瞬間、その光景に言葉を失うほどでした」と話す小杉さん。戸惑いを感じながらも準備し、炊き出しを開始しました。炊き出し会場ではこれをきっかけに再会する人たちがいるなど、皆さんの行動が被災者をつなげました。翌日、おばあちゃんから感謝の言葉をもらったことで、活動を継続することが自然に決まりました。

会員は現在24人。市内だけでなく新潟市、東京、盛岡在住の人もいます。小杉さんは、「全国に仲間ができて、仲間どうしを呼び合えるネットワークができた」と取り組みの広がりを期待します。また、「自分のスタイルに合わせて気軽に参加してほしい」とも呼びかけます。正会員のほかにも、活動日のみ参加の会員、賛助会員も募っています。皆さんも仲間になって活動してみませんか。

